

表 マレーシアデジタル行動計画における2030年までの行動目標

政府 (デジタル省)	政府サービスの95%をオンライン化 5年間で45億リンギのコスト削減を実現 連邦政府データの100%をデジタル化
経済 (投資貿易産業省)	1,500億リンギのデジタル投資認可額 180億リンギのデジタル輸出 50万人の雇用創出 中小企業の80%が高度なデジタル活用レベルに到達
インフラ (通信省)	人口集中地域における5G人口カバー率98%を達成 国家AIソブリン・クラウドと5カ所のスーパーコンピューター・クラスターを開発 持続可能なデータセンターに関する制度・枠組みの導入
人材 (人的資源省)	国民の80%がデジタルリテラシーを習得 高度技能労働者の割合を35%増加 70万人の労働者にリスキリングを実施 AIの専門人材2,000人をマレーシアに誘致
社会 (女性・家族・地域開発省)	マレーシア・デジタル包摂指数を設立 デジタル・ビレッジ・ネットワークおよびデジタル・アクセシビリティ義務化を実施 農村部におけるデジタル起業家5,000人を創出
信頼・安全 (デジタル省)	マレーシア国民の80%がAIシステムを信頼 AI導入を支援する新たな法律を制定 全てのAI関連のスタートアップおよび企業が国家AI安全基準の認証を取得
イノベーション (科学技術・イノベーション省)	研究開発支出総額（GERD）の対GDP比を2.5%に引き上げ 国内テクノロジー企業5,000社へ資金支援を実施 マレーシアに拠点を置くデジタル分野のユニコーンを5社創出 研究開発（R&D）の成果100件を商業化

（注）カッコ内は各分野の取り組みを主導する省庁。

（出所）デジタル省資料に基づきジェトロ作成